

上新電機オーディオ試聴会 (2017.9.23)

—DELA ミュージックライブラリー—

1. はじめに

上新電機日本橋 1 番館で開催された DELA ミュージックライブラリー新製品試聴会に行ってきました。

既にネット上には新製品リリース情報がありますが、「N10」はリニア電源採用・2 筐体構成ということで興味があります。

<https://www.phileweb.com/news/audio/201809/11/20142.html>

<https://kotonohanoana.com/archives/21378>

2. 使用機器

使用機器は、DELA ミュージックライブラリー2 機種のほか、次のとおりで、期待した N10 のデモはありませんでした。DELA 以外は共催のメース取り扱いの製品です。

ミュージックライブラリー：DELA HA-N1ZS20/2A DELA N100

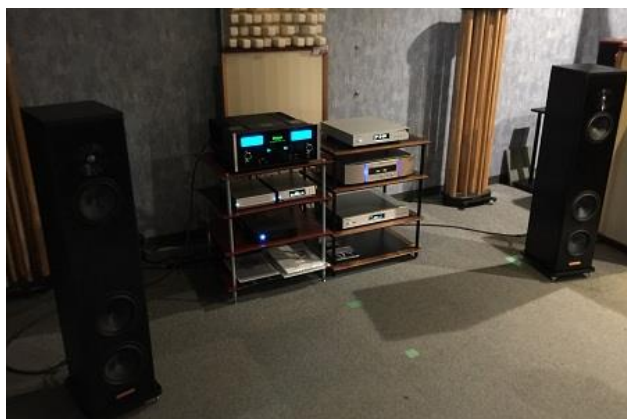
デジタルプレイヤー：Marantz SA-10 *DA コンバーターとして使用

DA コンバーター：MYTEK Brooklyn DAC+

CD ドライブ：DELA D100

アンプ：McIntosh MA7200

スピーカー：Magico A3



当日のセッティング



当日のセッティング

3. 試聴会の経過

最初にメルコシンクレツの成り立ちや DELA 製品の開発に至った経緯、新製品の N100 の特徴などの説明があり、その後試聴に移りました。タブレットのコントロールソフトは LINN の KAZOO が使用されました。

前半は、HA-N1ZS20/2A と SA-10 の DAC 部の USB 接続の組み合わせで、後半は N100 と Brooklyn DAC+ の USB 接続の組み合わせで試聴が進行し、後半では D100 からの CD のリッピングも行われました。

前半の最初は、Ha-N1ZSS20/2A に収納された、女性ボーカルの 48KHzPCM 音源から始まり、ついで SS 誌の 11.2MHzDSD 音源 2 曲がかかりました。11.2MHzDSD 音源はシュタルケルのバッハの無伴奏チェロ組曲とアンセルメ指揮スイス・ロマンドのストラヴィンスキーのペトリューシカです。これらは[ディスコグラフィー2017No.76](#)と[ディスコグラフィー2017No.81](#)で紹介済です。

女性ボーカルは太目の低域が膨らみがちの音で MA7200 の個性が前面に出ているようであるのに対し、11.2MHzDSD 音源の 2 曲は解像度が向上した、すっきりとした細めの静的な音で、SA-10 の個性が前面に出ているようで少し戸惑いました。

次の 192KHz32bit の女声ボーカルと CD からリッピングしたジャズのフルバンドになると再び最初の女声ボーカルと同様の傾向の音に聴こえました。

石川さゆりの CD からのリッピング音源の後、再び[ディスコグラフィー2017No.80](#)で紹介した、SS 誌の 11.2MHzDSD 音源のケルテス指揮ウィーンフィルのドボルザークの新世界になると、再び先の 11.2MHzDSD 音源 2 曲と同じ傾向の音になりました。

休憩を挟んで、ここからは後半の N100 と Brooklyn DAC+ の組み合わせに移り、マイルス・デイヴィスの枯れ葉の 2.8MHzDSD 音源から始まりましたが、先の組み合わせのジャズ音源とは印象が代わり、低域もしっかりと締まった音になりました。ここで、D100 を使った CD のリッピングの説明と実演がありました。

再び試聴に戻って、Universal Music の MQA-CD のジャズのサンプル音源から、MQA-CD と通常 CD のペアーからそれぞれリッピングした音源を比較試聴しましたが、MQA-CD からのリッピングの場合は、音像がしっかり立って、音の切れ味や低域の伸びがよく、音量が上がったような印象も持ちました。この後、マーラーの 5 番の 96KHzPCM 音源、ジャズの CD のリッピング音源がかかりましたが、これまでの印象どおりでした。

SS 誌の 11.2MHz 音源は全曲購入して、自宅のシステムの fidata と Sonica DAC の組み合わせで聴いていますが、もう少し躍動感のある印象で、これは fidata と DELA の違いというよりは、Sonica DAC の影響が大きいものと考えられます。

終了してから、メースの担当者に Brooklyn DAC+の SDIF 入力やフォノ入力およびクロックの選択について質問しましたが、経験がないようでした。

4. まとめ

11.2MHZDSD 音源や MQA-CD 音源が使用され、この種のデモでは充実した内容でしたが、HA-N1ZSS20/2A と N100 の価格差がどのくらい音質に影響しているかは、DAC の音質の影響が大きくて把握できませんでした。DELA 製品がそれだけニュートラルな特性で、音源を正確に DAC に供給し、音源や DAC の音質をそのまま反映することであったのかも知れません。N10 については別の機会に聴いてみたいと思います。

以上